



AWS IoT 1-click

AWS IoT 1-clickとは？

- AWS IoTデバイスからボタン1つでLambda関数やSMSメールを送信できる
- セットアップも簡単でこれ自体にコーディングは不要
 - 主にAWSコンソールと専用アプリでセットアップ
 - Lambda関数をトリガする場合は関数のコーディングは必要
- 公式ドキュメントは以下
 - <https://aws.amazon.com/jp/iot-1-click/>





どのようなことに使える？

- 定型文送信（Eメール/SMS）
 - ex: 出退勤時刻のメール送信など
- Lambda関数を1クリックで実行
 - ex: badgeの実行や備品の在庫が少なくなった時の通知



セットアップ方法（フローチャート）

1. コンソールの IoT 1-clickの「デバイスの登録」からデバイスを登録
 - a. この際、スマートフォンの「1-click」アプリとWi-Fiが必要
2. プロジェクト（クリック時にトリガされるイベント）を作成
 - a. Lambda関数を使う場合はあらかじめ用意しておく
3. プロジェクトにプレースメント（デバイスとプロジェクトの紐づけ）を設定
4. 完成！！

デバイスの登録

- コンソールの通りに進めていけばOK
 - そのため、注意点のみ記載
- デバイス登録コードは購入時の箱にバーコードがあるのでそれを読み込む推奨
 - デバイスの裏にも記載があるけど打ち込むのが面倒
- Wi-Fiは2.4GHzのみ対応
 - 5GHzは未対応





プロジェクトの作成

- こちらもコンソールの指定どおりに進めるだけでOK
- トリガする関数はテンプレート（メール/SMS送信）かLambda関数指定かを選択
 - テンプレートを選んだ場合は設定に合わせた関数が自動生成される
- プロジェクトの属性値（プロジェクト全体の属性値と初期値）を設定可能



プレイスメント

- デバイスとプロジェクトの紐づけを行う
 - 1プレイスメント1デバイス
- プロジェクトで設定した属性値に定数を入れることができる
 - FMsの締め出されましたBotは階数を属性値として設定している
- 加えてプレイスメント特有の属性値も設定可能



実際のLambda関数（締め出されましたBot）

- SANDBOXのgitに格納されてます
- pythonでrequestを叩いてSlackにメッセージを送る簡単なもの
- クリック/ダブルクリック/長押しでだし分け可能だが今回は不要だったため割愛



セットアップしての感想

- かなり簡単
 - 関数の準備にちょっと苦戦（ボタンから送られてくるjsonの中身チェックやSlackへの通知の出し方など）
- デバイスの登録とプレイメントの設定は1つ1つ手作業で行う必要があるのはちょっと面倒
 - 1つ2つなら問題ないけど何個もデバイスを有効にするのには手間が多い